



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月23日

上場会社名 太洋工業株式会社
 コード番号 6663 URL <http://www.taiyo-xelcom.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細江 美則
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 園部 直孝
 四半期報告書提出予定日 2020年10月30日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 073-431-6311

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2019年12月21日～2020年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	2,434	18.4	284		216		553	
2019年12月期第3四半期	2,983	12.9	60		36		4	

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 570百万円 (%) 2019年12月期第3四半期 0百万円 (99.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	93.97	
2019年12月期第3四半期	0.75	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	5,116	2,493	48.0
2019年12月期	5,073	3,068	59.6

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 2,457百万円 2019年12月期 3,026百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		3.00	3.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2019年12月21日～2020年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,784	2.9	239		171		475		80.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期3Q	5,910,100 株	2019年12月期	5,872,000 株
2020年12月期3Q	1,782 株	2019年12月期	1,782 株
2020年12月期3Q	5,893,494 株	2019年12月期3Q	5,870,493 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益の大幅な減少に加えて、米国による中国企業に対する規制強化の影響等により、依然として厳しい状況が続いたものの、各種政策の効果や海外経済の改善により個人消費や輸出が持ち直す等、回復傾向がみられました。

当社グループが属する電子基板業界は、5G（次世代通信規格）対応インフラの整備や新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うリモートワークの普及等により、データセンターやサーバー向けの需要が高まるとともに、主要市場である自動車分野においても需要回復がみられたものの、長引く米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染症の影響により本格的な回復には至りませんでした。

このような経済環境の下、産機システム事業において販売は増加したものの、テストシステム事業、電子基板事業及び鏡面研磨機事業において販売が減少したことから、売上高は減少いたしました。

これらの結果、連結売上高は2,434百万円（前年同四半期比18.4%減）と、前年同四半期連結累計期間に比べ548百万円の減収となりました。

損益については、販売費及び一般管理費の減少による利益増加要因はあったものの、テストシステム事業、電子基板事業及び鏡面研磨機事業において売上高が減少したことや、売上総利益が低下したことに伴う影響により営業損失284百万円（前年同四半期は60百万円の営業損失）、雇用調整助成金等の助成金収入を営業外収益に計上したことにより経常損失216百万円（同36百万円の経常損失）、第2四半期連結会計期間において減損損失及び投資有価証券評価損を特別損失に計上したこと並びに繰延税金資産の取崩しに伴う法人税等調整額を計上したことにより親会社株主に帰属する四半期純損失553百万円（同4百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電子基板事業)

FPCメーカー向けの販売は量産案件の受注増により増加したものの、カメラメーカー及びディスプレイメーカー向け等の販売がFPC試作案件の受注減により減少したことから、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少に伴う影響により減益となりました。

その結果、売上高1,549百万円（前年同四半期比14.0%減）、セグメント利益139百万円（同44.9%減）となりました。

(テストシステム事業)

国内市場向けの外観検査機の販売は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により引き続き経済活動が抑制され海外市場における販売が減少したこと及び前年同四半期は点灯検査装置等の大型案件の計上があったことから、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少に伴う影響により損失が拡大いたしました。

その結果、売上高455百万円（前年同四半期比37.7%減）、セグメント損失97百万円（前年同四半期は28百万円のセグメント損失）となりました。

(鏡面研磨機事業)

研磨機及び研磨に使用する消耗品の販売が減少したことから、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少に伴う影響及び研磨機の初号機対応等による売上原価率の上昇により減益となりました。

その結果、売上高284百万円（前年同四半期比22.8%減）、セグメント利益17百万円（同72.1%減）となりました。

(産機システム事業)

中小型ディスプレイ向けの検査治具の販売は減少したものの、産業用ロボット関連の販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、売上高は増加したものの、製品仕様の多様化により売上高材料費率及び売上高外注加工費率が上昇したことに伴う影響により損失が拡大いたしました。

その結果、売上高145百万円（前年同四半期比78.5%増）、セグメント損失48百万円（前年同四半期は17百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ316百万円増加し、3,035百万円となりました。これは主として、売上債権及びたな卸資産が減少した一方、現金及び預金が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ273百万円減少し、2,081百万円となりました。これは主として、設備投資により機械装置及び運搬具が増加した一方、減損による土地及び繰延税金資産の取崩しにより減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ354百万円増加し、1,412百万円となりました。これは主として、仕入債務が減少した一方、短期借入金が増加したこと及び冬季の賞与引当金を計上したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ263百万円増加し、1,210百万円となりました。これは主として、長期借入金及び割賦購入による長期未払金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ574百万円減少し、2,493百万円となりました。これは主として、利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期の連結業績予想については、2020年7月28日公表の「特別損失の計上（開示事項の経過含む。）、繰延税金資産の取崩し並びに2020年12月期 第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,361,756	1,942,220
受取手形及び売掛金	689,423	526,183
商品及び製品	213,056	126,530
仕掛品	324,939	304,702
原材料及び貯蔵品	89,430	94,243
その他	40,083	41,648
貸倒引当金	△461	△504
流動資産合計	2,718,229	3,035,025
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	362,765	345,727
機械装置及び運搬具（純額）	138,404	205,040
土地	1,169,811	894,991
その他（純額）	16,122	24,817
有形固定資産合計	1,687,102	1,470,576
無形固定資産		
その他	37,164	30,932
無形固定資産合計	37,164	30,932
投資その他の資産		
その他	636,282	586,359
貸倒引当金	△5,095	△6,180
投資その他の資産合計	631,187	580,179
固定資産合計	2,355,455	2,081,687
資産合計	5,073,685	5,116,713

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	161,952	76,853
短期借入金	505,912	945,564
未払法人税等	10,385	4,308
賞与引当金	—	52,951
製品保証引当金	1,420	1,038
その他	378,744	331,721
流動負債合計	1,058,413	1,412,436
固定負債		
長期借入金	259,564	397,596
長期末払金	49,156	140,654
役員退職慰労引当金	181,045	181,045
退職給付に係る負債	449,506	482,366
資産除去債務	7,100	7,100
繰延税金負債	—	1,604
固定負債合計	946,372	1,210,366
負債合計	2,004,786	2,622,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,757	807,272
資本剰余金	924,057	930,572
利益剰余金	1,215,273	643,862
自己株式	△99	△99
株主資本合計	2,939,987	2,381,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,862	56,023
為替換算調整勘定	23,259	19,430
その他の包括利益累計額合計	86,122	75,453
非支配株主持分	42,788	36,848
純資産合計	3,068,899	2,493,909
負債純資産合計	5,073,685	5,116,713

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月21日 至 2019年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月21日 至 2020年9月20日)
売上高	2,983,293	2,434,982
売上原価	2,157,704	1,911,772
売上総利益	825,588	523,209
販売費及び一般管理費	885,707	807,361
営業損失(△)	△60,118	△284,152
営業外収益		
受取利息	1,617	1,294
受取配当金	5,452	5,090
助成金収入	2,693	60,622
受取保険金	7,617	187
作業くず売却益	13,720	6,995
その他	10,036	7,290
営業外収益合計	41,137	81,480
営業外費用		
支払利息	7,038	7,276
債権売却損	3,163	2,529
為替差損	6,144	3,463
その他	1,080	750
営業外費用合計	17,426	14,019
経常損失(△)	△36,407	△216,691
特別利益		
固定資産売却益	42,967	—
投資有価証券売却益	887	—
特別利益合計	43,855	—
特別損失		
固定資産除却損	53	38
減損損失	—	278,405
投資有価証券評価損	1,357	20,002
特別損失合計	1,411	298,446
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	6,036	△515,138
法人税等	8,411	41,508
四半期純損失(△)	△2,374	△556,646
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,009	△2,846
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,384	△553,799

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月21日 至 2019年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月21日 至 2020年9月20日)
四半期純損失(△)	△2,374	△556,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,997	△6,839
為替換算調整勘定	△3,167	△6,922
その他の包括利益合計	2,829	△13,762
四半期包括利益	454	△570,409
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,138	△564,468
非支配株主に係る四半期包括利益	3,593	△5,940

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症における会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、当社グループでは取引先の減産等により、売上高が減少しております。このような状況は当連結会計年度末にかけて徐々に回復に向かい、翌連結会計年度中には概ね当該感染症拡大前の水準に戻ると仮定し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。その結果として、当第3四半期連結累計期間において、減損損失を278,405千円計上し、繰延税金資産を35,945千円取り崩しております。

なお、当該感染症による経済活動への影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合は、今後の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年12月21日 至 2019年9月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,802,055	731,333	368,121	81,782	2,983,293	—	2,983,293
セグメント間 の内部売上高又は 振替高	—	1,560	15	—	1,575	△1,575	—
計	1,802,055	732,893	368,136	81,782	2,984,868	△1,575	2,983,293
セグメント利益 又は損失(△)	252,636	△28,488	63,080	△17,263	269,964	△330,083	△60,118

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△330,083千円には、セグメント間取引消去等8,215千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△338,298千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年12月21日 至 2020年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,549,322	455,362	284,305	145,992	2,434,982	—	2,434,982
セグメント間 の内部売上高又は 振替高	—	15,510	—	—	15,510	△15,510	—
計	1,549,322	470,872	284,305	145,992	2,450,492	△15,510	2,434,982
セグメント利益 又は損失(△)	139,197	△97,066	17,568	△48,056	11,643	△295,795	△284,152

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△295,795千円には、セグメント間取引消去等6,512千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△302,308千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

産機システム事業において、機械装置及び運搬具の減損損失3,585千円、各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産の土地の減損損失274,820千円を計上しております。